

## 練習用 平成22年度日本植物病理学会大会 演題登録

**このページで登録した演題の登録番号は 91XXX となり、正式登録にはなりませんのでご注意ください。**

※本システムは【Internet Explorer】【Netscape】【Safari】【FireFox】で動作確認を行っております。  
それ以外のブラウザはご利用にならないようお願いいたします。

注：Safariにおきましては、ver.2.0.3(417.9.2)以降のバージョンでご利用可能です。  
上記に満たないバージョンは使用できません。

データが正しく表示されているか確認してください。間違いがあれば、この画面の一番下にある  
【登録せずに、ひとつ前の登録ページに戻る（これまでに打ち込んだデータを修正できます）】  
のボタンで戻って修正してください。

<ご注意>

**ブラウザのBackボタンは使用しないで下さい！！**

ブラウザによってはブラウザのBackボタンで戻ると登録したデータが保存されていない場合がございますのでご注意ください。

この時点では、まだ登録されていません。

---

発表者の学会会員番号: 123456

発表者の参加登録受付番号: 7890

発表形式: 口頭発表

学生優秀発表賞の選考について: 発表者が一般会員または選考対象とならない学生会員

言語選択: 日本語

筆頭著者の姓 (選択言語表記): 猿田

筆頭著者の名 (選択言語表記): 正恭

筆頭著者の姓 (ふりがな): さるた

筆頭著者の名 (ふりがな): まさやす

筆頭著者の姓 (英語表記): Saruta

筆頭著者の名 (英語表記): Masayasu

筆頭著者の所属機関1の略称: 東大院農

筆頭著者の所属機関番号: 1,2

発表者番号: 2

所属機関2の略称 (選択言語表記): 現: 近中四農研

所属機関3の略称 (選択言語表記): 生物研

共著者2の姓 (選択言語表記): 西澤

共著者2の名 (選択言語表記): 洋子

共著者2の姓 (ふりがな): にしざわ

共著者2の名 (ふりがな): ようこ

共著者2の名 (英語表記): Yoko

共著者2の姓 (英語表記): Nishizawa

共著者2の所属機関番号: 3

共著者3の姓 (選択言語表記): 加来

共著者3の名 (選択言語表記): 久敏

共著者3の姓 (ふりがな): かく

共著者3の名 (ふりがな): ひさとし

共著者3の名 (英語表記): Hisatoshi

共著者3の姓 (英語表記): Kaku

共著者3の所属機関番号: 3

共著者4の姓 (選択言語表記): 日比

共著者4の名 (選択言語表記): 忠明

共著者4の姓 (ふりがな): ひび

共著者4の名 (ふりがな): ただあき

共著者4の名 (英語表記): Tadaaki

共著者4の姓 (英語表記): Hibi

共著者4の所属機関番号: 1

発表希望分野: 菌類病

発表内容: 感染生理

その他の発表内容を示すキーワード:

発表者の所属先の電話番号: 029-838-0000

発表者の所属先の内線番号:

発表者の所属先のFAX番号: 029-838-0000

発表者の電子メールアドレス: xxxx@aff rc.go.jp

演題名:

1, 3; 1, 4- $\beta$ -グルカナーゼ遺伝子 (*Gns1*) を過剰発現する組換えイネにおけるイネいもち病菌とイネ白葉枯病菌に対する過敏反応

英語演題名:

Hyperresponse to Both Blast and Bacterial Leaf Blight in Transgenic Rice Plants Overexpressing the 1, 3; 1, 4- $\beta$ -Glucanase Gene (*Gns1*)

要旨本文:

*Gns1*遺伝子を過剰発現させた組換えイネでは、イネいもち病菌の接種により小褐点が形成され、非組換えイネに比べて進展型病斑数が減少する(中園ら, 2000)。本組換えイネ系統は通常の生育条件下においても*Gns1*遺伝子の発現量に相関して小褐点(擬似病斑)を形成する。そこで、イネいもち病菌とは感染機作の異なるイネ白葉枯病菌に対する反応を剪葉接種約10日後に観察したところ、感染部の褐変を伴う病斑長の著しい減少が認められた。次に、5~6葉期のイネの葉身における*PR-1*および*PBZ1*遺伝子の発現を解析したところ、組換えイネでは擬似病斑出現前から非組換えイネと比較して両遺伝子の発現量が若干多く、病斑出現後には著しく増加した。また、いもち病菌接種後の組換えイネでは、両遺伝子の発現が非組換えイネの場合よりも早期に誘導された。以上から、*Gns1*過剰発現組換えイネが示す病害抵抗性の増強には、イネの過敏反応およびそれに伴う*PR-1*などの防御応答遺伝子の発現が関与している可能性が示唆された。

対象植物: イネ

対象微生物: イネいもち病菌

参照・更新用パスワード: 123456

演題名が全角換算で 59.5文字(半角換算で 119文字) あります。

要旨本文が全角換算で 423.5文字 あります。

登録する直前にこのページを [プリントアウト](#) しておくと、以後の修正等に便利です。

**注意!** この下の「登録」ボタンを押さなければ、登録されません。

登録ボタンは1度だけ押してください。

登録ボタンを押した後、登録が完了されるまで1分間程度時間がかかってしまう場合がございます。

処理が完了するまでそのままお待ちください。

登録

演題の確認・更新には、登録番号と参照・更新用パスワードが必要になりますので、次の登録終了画面で表示されるこの2つの番号を控えておいて下さい。

登録せずに、ひとつ前の登録ページに戻る(これまでに打ち込んだデータを修正)

お問い合わせの前に [よくある質問とその回答集](#) をご覧ください。

この練習用 平成22年度日本植物病理学会大会 演題登録 に関するお問い合わせは、[大会事務局 psjh22tk@kais.kyoto-u.ac.jp](mailto:psjh22tk@kais.kyoto-u.ac.jp) へお願い致します。

また、この要旨提出用ホームページは、[UMINセンター](#) の全面的な支援のもと、運営されています。

**UMIN** Click here to use **ELBIS Online Retrieval System**  
ELBIS - Electronic Library for Biomedical Sciences